

独立行政法人国立科学博物館の概要

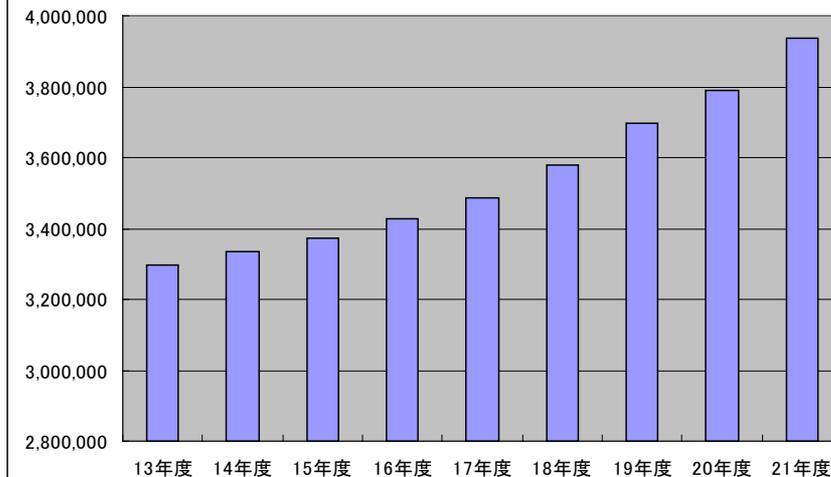
ミッション

人々が、地球や生命、科学技術に対する認識を深め、人類と自然、科学技術の望ましい関係について考えていくことに貢献する

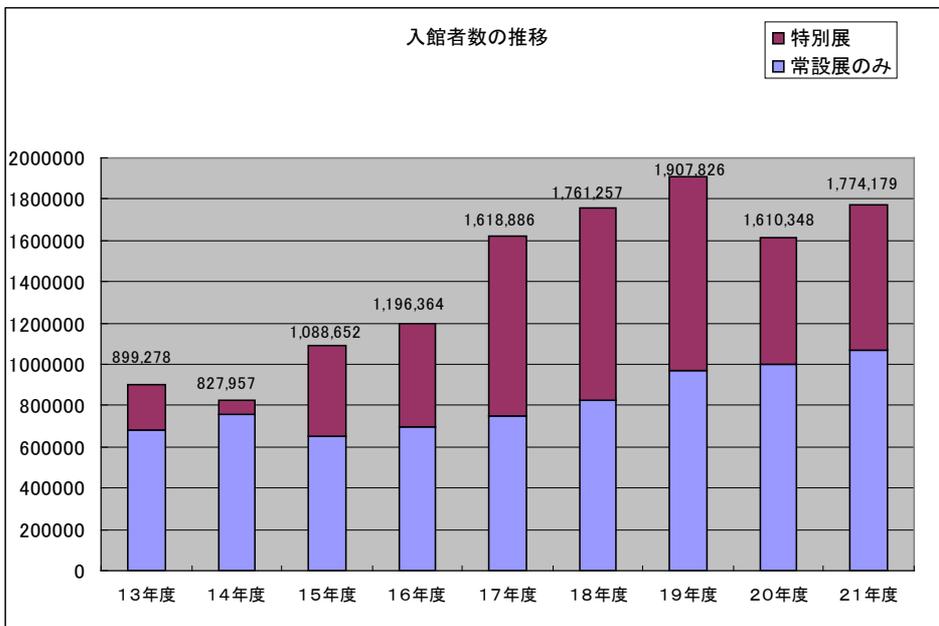


- 登録標本数は第1期を上回る勢いで増加
- 入館者数は第1期を大きく越えて増加。常設展の入館者数が着実に増加
- ホームページアクセス数は着実に増加

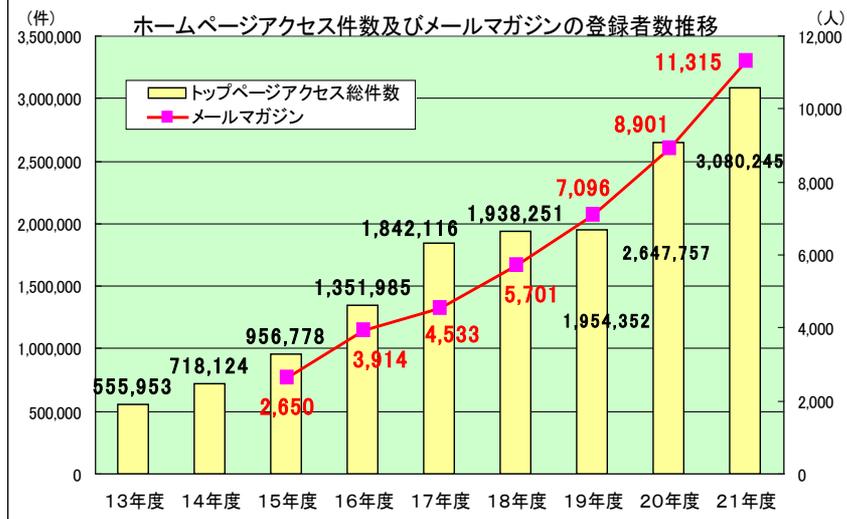
登録標本資料数の推移



入館者数の推移



ホームページアクセス件数及びメールマガジンの登録者数推移



独立行政法人国立科学博物館の見直しの概要

調査・研究事業

- 各研究部及び産業技術史資料情報センターを筑波地区に集約し、自然史・科学技術史研究の効果的・効率的な推進を図るとともに、分野を越えた横断的研究を一層推進
- 地球規模生物多様性情報機構(GBIF)、国際深海掘削計画微古生物標本資料センター(MRC)等をはじめ、国内外の研究者との共同研究を推進
- 自然史・科学技術史分野の後継者養成
- 研究成果の社会への発信

標本資料の収集・保管事業

- 標本資料の収集・保管を効率的に進めるため、標本資料統合データベースを活用して充実すべき分類群や地域に焦点を置いた戦略的なコレクション構築を図るとともに、新収蔵庫も活用した効率的なコレクション保管体制を構築
- YS-11については定期的に公開の機会を設けるとともに、恒久的な保存・公開の在り方について検討
- 自然史・科学技術史に関するナショナルセンターとして、国内の関連機関と連携して、国内の標本資料情報が横断的に検索できるデータベースの運用に引き続き取り組むとともに、新たに標本資料に関わる機関や学芸員等のデータの集積及び提供を開始
- 地方の博物館等で保管が困難となった資料について、他の博物館とも連携してセーフティネットを構築

展示・学習支援事業

- 展示においては、国立の科学系博物館としてふさわしいもの、自然史等の中核的研究機関としてふさわしいものに重点化
- 学習支援活動においては高度な専門性を活かした独自性のある事業、ナショナルセンターとしての先導的・モデル的な事業等、他の科学系博物館では実施困難な事業に引き続き重点化

組織の見直し等

- 新宿分館及び産業技術史資料情報センターの研究機能を筑波地区に移転
- 新宿分館地区については、移転経費が措置され、移転が完全に終了した後、処分する予定。産業技術史資料情報センターについては、移転が完全に終了した後、賃貸借契約を終了
- 新宿分館の研究推進課と筑波地区事務部の統合による、組織の効率化及び研究支援機能の充実

運営の効率化及び自律化

- 霞ヶ浦地区を処分することとし、早期の国庫返納に向けて関係機関と協議中
- 上野本館のミュージアムショップ用地の賃貸については、入館者サービス向上の観点から競争性のある契約に移行
- 入場料収入の確保に努めるとともに、科研費その他の外部資金の獲得に努める
- 外部研究者を交えた研究評価委員会により、研究計画の妥当性の検討、研究の進捗状況の把握、研究成果の評価を行い、調査研究活動の効果的な推進を図る
- 民間競争入札により事業を実施している国立科学博物館の施設管理・運營業務について、実施要項等に基づき適切に運営。民間競争入札の更なる実施について、上記の民間競争入札の検証結果も踏まえた上で検討